

赤えぞ松

上川町立上川小学校
学校だより

令和6年9月30日

第6号

〈教育目標〉 たくましく 創造的に生きぬく子 〈重点目標〉 伸ばそう・発揮しよう

子どもたちの力、大人たちの力

校長 長 井 香 征

<前期が終了します>

上川小学校は、登校日を1・2・3学期に区切る3学期制をとっています。しかし、冬休み期間が長く3学期が短いことなどから、学校教育活動の一部を前後期の2期で区切っています。縦割り班の所属や、子どもたちの学習状況を評価して家庭に伝える通知表などがそれに当たります。本日9月30日は前期のゴールとなり、これも節目の1つとなります。

<子どもたちの頑張り>

10月3日に担任から通知表を渡します。お子さんの学校での頑張りを3段階の評定や文章でお伝えしますので、お子さんと一緒に見ていただくようお願いいたします。努力が成果に結びついたこともあれば、思ったようにいかなかったこともあると思います。しかし、どの子どもも今の自分にできる力を発揮しようと頑張っていたことに間違いありません。その「今できる努力」を認め、褒め、支えてあげてください。

<子どもたちの「すごい力」>

前期の子どもたちの活躍を見ていると、「すごいな!」と驚かされることがありました。それは、普段の授業の中でもありましたが、特に運動会やランニングフェスティバルなどの学校行事の場面で多くありました。「すごい大きな声」「すごい速さ」「すごい粘り強さ」「すごい立派な態度」「すごい優しさ」「すごい…」私が自分の感覚や思い込みで予想していた状況を遥かに上回る子どもたちの力!これにはいつも驚かされると共に、感動させてもらいました。そして、考えさせられます。「この力は、どこから生み出されるのだろうか…」と。

子どもたちが、ここぞというときに発揮する力は、特定の人だけがもつ力なのかというと、それは違います。すべての子どもたちがもっている力です。「やってみよう」という意欲と、「やり遂げたい」という気力と、「できる」という自信と、そのときの体の状態がしっかりかみ合ったときに、その子もっている本来の力が発揮できるのでしょう。

<大人たちの「支える力」>

そう考えると、「すごい力」は「誰もがもっているけれど、いつでも発揮できるものではない」のかもしれませんが、では、どういう場面で、何がきっかけで発揮できるのでしょうか。それは多くの場合、周りから応援されている場面でした。友達や先生、そして何より家族から応援されることで、子どもたちが「すごい力」を発揮できる条件がそろうのでしょう。大きな声援を送る応援もあれば、静かに支える応援もあります。大切なのは、その子の「今できる努力」を認め、褒め、支えることで、心の安定や自信につなげることなのでしょう。子どもたちの「すごい力」は、大人たちの「支える力」によって発揮されるのですね。

人間というものは「信じた自分」になることが多い。もし「自分にはそんなことはできない」と思ってしまふと、それで本当にできなくなってしまう。しかし、もし「できる」と信じたならば、たとえばはじめはそのような能力がなかったとしても、それを「なし遂げる力」を得ることができるのです。

マハトマ・ガンジー

<後期も「伸ばそう・発揮しよう」>

10月から後期がスタートします。子どもたちは、「今できる努力」を積み重ねていきます。すべての子どもたちが力を伸ばし発揮できるよう、私たち大人も全力で支えていきたいです。

みんな頑張った ランニングフェスティバル

9月10日(火)高学年 9月12日(木)中学年 9月24日(火)低学年 に実施しました。雨天延期をした学年もありましたが実施することができました。

7月の早い段階からランニングフェスティバルに向けて、朝や休み時間等を使って練習に励んできました。中には、家庭に帰ってから練習をしていたという子どももいたと聞きます。目標は、①「ねばり強く頑張れる子の育成」②「計画的に取り組み、体力向上・健康増進」です。

長い距離を走ることを得意とする人はあまりいないと思いますが、健康を考えるととても有効な有酸素運動です。生涯スポーツと考えると、とても素晴らしい種目ではないかと思います。頑張りカードは、2枚目にいった児童には、「がんばり賞」を渡しました。今年度も多くの新記録が生まれました。1階廊下に掲示しています。

順位を考えて走る子、タイムを縮めようと取り組んでいた子など全員一生懸命走りました。褒めの言葉を大いに掛けてあげてください。応援に来ていただいた保護者の皆様ありがとうございました。



3年生と学習「黒岳散策」



植物を写真に撮ってきたり、観光に来ている人たちにインタビューをして黒岳の魅力を聞いたりしていました。天気もよく、暖かい日差しの中活発に活動することにできました。行き交う人たちととても立派でした。

9月24日(火)

3年生が、ロープウェイ、リフトに乗って、黒岳7合目まで行ってきました。そこでは、各自の課題に沿ったの取組を行いました。きれいだと思っ

避難訓練 (火災 休み時間 通知なし)

今月は、避難訓練月間ということで防災に対する意識を高める月としています。そこで、避難訓練をいつ・どこ起きるか分からない状況での訓練を行いました。上級生が下級生の面倒を見るなど素晴らしい場面が見られ、無事に避難することができました。

1年生「旭山動物園見学」



9月2日(月) 1年生が生活科の学習で旭山動物園の見学に行ってきました。お弁当を持って、多くの動物を見てきました。初めての子どももいてとても新鮮に見ることができました。動物と触れ合う機会ももててとてもよい体験になりました。

2年生「町探検」

生活科の学習で「消防署」「給食センター」等町探検に行ってきました。働く人たちの大変さや楽しさを聞くことができ、よい学習となりました。



日	曜	10月行事予定
1	火	街頭指導 安全点検日
2	水	上教研研究大会(臨時休業)
3	木	通知表配付日 学芸会実行委員会①
4	金	研修日
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	学芸会実行委員会②
9	水	学芸会児童公開日
10	木	
11	金	学芸会実行委員会③
12	土	学芸会一般公開日
13	日	
14	月	スポーツの日
15	火	振替休業日
16	水	職員会議
17	木	二計測(4～6年)委員会
18	金	二計測(1～3年)
19	土	
20	日	
21	月	教育相談週間 ～25日
22	火	研修日
23	水	教育相談日
24	木	クラブ⑥
25	金	
26	土	町民文化祭作品展示
27	日	町民文化祭作品展示
28	月	
29	火	研修日
30	水	
31	木	委員会⑨

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果

【調査目的】 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

【実施日】 令和6年4月18日（木）

【調査対象】 小学校第6学年、中学校第3学年

【調査内容】 国語、算数（数学）、児童生徒の生活習慣や学習環境等に関する質問紙

<教科に関する調査>

○出題範囲は、前学年までに学習した内容を原則とする。

①身に付けておくべき学習内容や、実生活において活用できことが望ましい知識・技能等。

②知識・技能を実生活の場面に活用する力や、課題解決のための構想を立て、実践・評価・改善する力等。

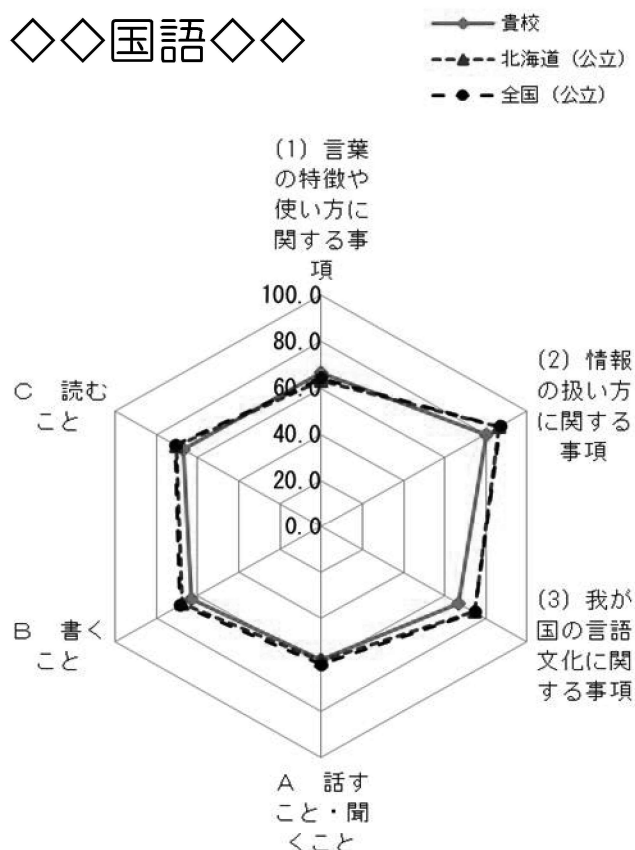
<生活習慣や学習環境等に関する児童生徒質問紙調査>

○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査。

（例）国語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、家庭学習の状況など。

○下のグラフは、上川小6年生の平均正答率を示したもので、全国・北海道と比較しています。
○なお、調査結果は学力の一面を捉えたものであり、全ての学力を表すものではありません。
また、分析は一例に過ぎないことを申し添えます。

◇◇国語◇◇



【国語】

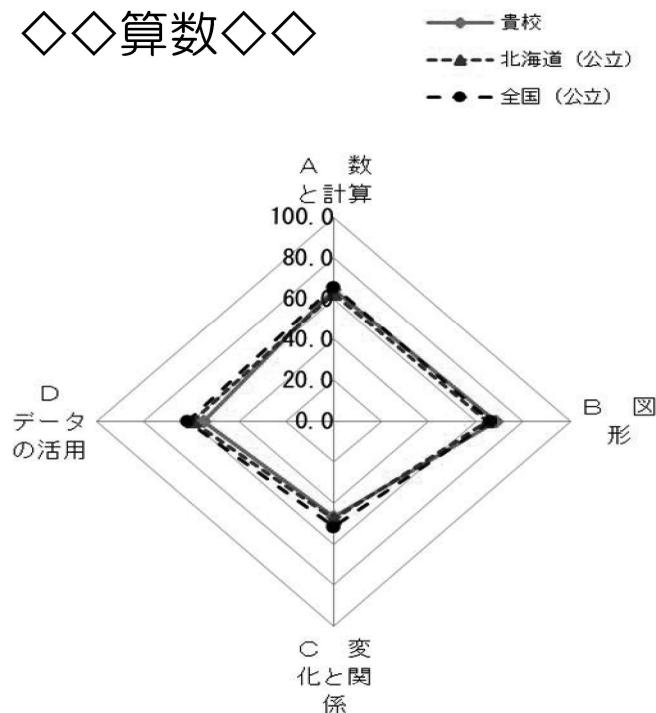
・文章の内容を要点に沿って整理し、それを説明する力に課題が見られた。

・発言の内容を的確に捉え、目的に合った発言の工夫を考える力に課題が見られた。

・話し合いの中で、情報を整理し、話し手の心情や意図を捉える力に課題が見られた。

・文章に合った漢字を書くことが優れていた。

◇◇算数◇◇



【算数】

- かけ算の仕組みや答えの求め方を、言葉を使って説明することに課題が見られた。
- 速さの意味を理解することに課題が見られた。
- データや情報の中から、目的のあった数値を抽出することに課題が見られた。
- 時間を求める問題、見取り図を書く問題の正答率が高い。

◇◇児童質問紙◇◇

【分析】

- 全体的に学習の大切さを理解している児童が多く、2教科ともに、「勉強することは大切だ」との回答が80%を超えていました。また、「学習したことは、将来、役に立つ」の回答がほぼ80%という結果でした。
- 「授業内容がよくわかる」と回答した児童は、国語が90%近くいて、算数が50%を超えるぐらいとなっており、教科の違いが出ていました。
- 「授業で学んだことを他の学習で生かしていますか」という問いにも国語が90%近くいて、算数が50%を超えるぐらいとなっており、これも教科の差が出ていました。
- 授業や学校生活で友達の考えを大切にして、協力しながら解決に取り組んでいるという問いに、100%の児童がそう思うと回答しました。

◇◇まとめ◇◇

本調査の結果を踏まえ、次の様に取り組を実施しています。

- 調査を実施した各教科（国語・算数）において課題となる部分を明確にし、全教職員で確認しました。

例）【国語】話し合いの目的や方向性、聞き手の求めていることを知ることを大切に指導する。

【算数】四則計算や基礎・基本の定着を図る活動。

- 上川中学校と連携した系統性のある学習規律「学びのスタンダード」を設定し、学習における約束事を明確にして指導しています。
- 1人1台端末を使って、基礎学力の定着や、子ども同士の協働的な学びに有効活用し資質能力を向上させる。
- 家庭学習指導、読書指導などに力を入れ、上川小学校の子どもたち全体の学力を高められるよう努力していきます。
- 本調査の結果を受け、家庭学習や読書など、今後とも学校と家庭が連携して行っていくことが重要と考えます。ご協力いただきますようお願いいたします。

令和6年度 上川小学校アンケート前期 集計(保護者)

学校経営について

A:とてもそう思う B:だいたいそう思う C:あまりそう思わない D:いいえ

No.	重点教育目標に向けた学校の取組について		1年	2年	3年	4年	5年	6年	平均
1	学校は、「確かな学力」の育成を目指し、基礎基本の定着のための指導や授業内容の充実に努力している。	A	100	100	100	92	100	100	99
		B							
		C	0	0	0	8	0	0	1
		D							
2	学校は、「豊かな心」の育成を目指し、いじめ・不登校を未然に防ぐ体制づくりや道徳的指導の充実に努力している。	A	100	100	100	92	100	93	98
		B							
		C	0	0	0	8	0	7	2
		D							
3	学校は、「健やかな体」の育成を目指し、運動意欲や体力を高める指導、食育指導の充実に努力している。	A	100	100	100	100	100	100	100
		B							
		C	0	0	0	0	0	0	0
		D							
4	学校は、PTA活動やコミュニティ・スクールを活用し、家庭・地域と連携をとりながら教育活動を推進している。	A	89	100	100	100	100	100	98
		B							
		C	11	0	0	0	0	0	2
		D							

No.	家庭と学校との連携について		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
1	ご家庭では、お子さんとの対話の機会をもっている。	A	89	100	67	100	100	100	93
		B							
		C	11	0	33	0	0	0	7
		D							
2	ご家庭では、学校からの配付物やメール連絡に目を通してしている。	A	100	100	100	100	100	100	100
		B							
		C	0	0	0	0	0	0	0
		D							
3	ご家庭では、学校行事やPTA活動に、積極的に参加している。	A	100	100	67	85	100	80	89
		B							
		C	0	0	33	15	0	20	11
		D							

学校運営全般に関わる要望(自由記述)

- ・学校からのお便りの管理・書類の提出期限などの把握が難しく、アプリなどで共有されると助かります。
→現在、欠席した児童に通信等をマチコメールで送信しています。今後、更なる活用を検討していきます。
 - ・行事やPTA活動等、無理なく参加できるものばかりで助かります。
→活動の効率化により、無理なく参加いただいております。
 - ・家庭学習や宿題について
→高学年に向けて、宿題を減らし家庭学習(自主学習)への取り組みに変更していきます。
 - ・プールの使用基準明確にしてほしい
→使用基準を明確にし、共通理解を図ります。
 - ・子どもたちの能力が発揮できるよう取り組んで頂きたい。
→全教職員が、子どもたちのよりよい成長を願い日々研鑽を積んでいます。至らない点は、ご意見をいただきながら改善を目指します。
 - ・プリントやテストの直しについて
→プリントなどは、教師が○を付ける場合、友達同士で付ける場合、自分で付ける場合があり、それぞれ目的が異なります。ご家庭での○付けをお願いする場合がありますので、どうかご協力ください。
 - ・大変お世話になっております。いつもありがとうございます。子供は学校生活が楽しい様です。
- ※ご協力ありがとうございます。